

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2021.11

vol.

63

巻頭インタビュー

富士山の魅力は 美しさを肌で感じ、広く伝えることから

認定特定非営利活動法人
富士山クラブ
静岡事務所長

深澤 寛貴さん

令和3年度ふじさんネットワーク総会

富士山エコレンジャー連絡会の活動

令和3年度 第1回富士山ごみ減量大作戦

根原県有地の草原維持

カエンタケに関する注意喚起

富士宮口五合目レストハウス等について

Welcome



Join Us

「ふじさんネットワーク」 会員募集中!

Check!

「ふじさんネットワーク」は、その活動を通じて、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを目的とします。富士山の環境保全活動を行うグループ、自然保護団体、NPO、企業、マスコミ、行政等による会員制のネットワーク組織ですが、富士山を愛する人なら個人でも登録ができます。

入会費
年会費
無料

特典

- 「ふじさんネットワーク」の冊子が届きます
- イベント情報をいち早く入手できます
- シンボルマークが使えます

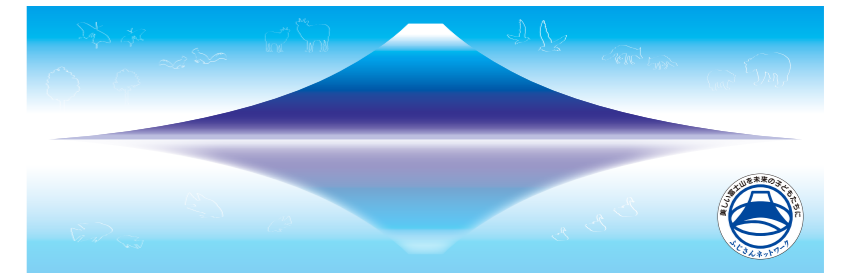


「ふじさんネットワーク」の取り組みなどはホームページから見るができます。

<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

寄付していただいた方に
オリジナル記念品
を差し上げています

「富士山総合環境保全指針」と行動規範としての「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高めてもらうため、ふじさんネットワークの環境保全活動への寄付を募るとともに、記念品を差し上げています。



NEW 新寄付記念品 手ぬぐい「鏡富士」
■サイズ:(約)35cm×90cm ■綿100% ■1口:1,000円以上

ピンバッジもぜひ御利用ください。
一口300円から気軽にできる寄付です。

高級感のある光沢加工で
文字はゴールドのピンバッジです。

SAVE Mt.FUJI

- ピンバッジ(1個)
- サイズ:直径26mm
- 1口:300円以上



花シリーズ

- ピンバッジ(1セット5個組)
- サイズ:1個 1辺33mm
- 1口:1,000円以上

富士山の雲シリーズ

- ピンバッジ(1セット4個組)
- サイズ:1個 直径32mm
- 1口:1,000円以上

直接受取希望: ふじさんネットワーク事務局まで、事前に御連絡をいただき、受取希望日時をお伝えください。

寄付をいただいて、同時に記念品をお渡します。(TEL 054-221-3498)

送付希望: 郵便、電話、FAXまたはメールで①～⑤の事項をお知らせください。①名前 ②住所 ③電話番号 ④寄付金額 ⑤希望する種類・個数 振込用紙を住所へ送付します。振込の確認ができれば、記念品を送付します。(振込手数料・送料は不要)



ふじさんネットワーク 2021年11月 vol.63

編集・発行 **ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話:054-221-3498 ファックス:054-221-3278

E-mail:3776fujii@pref.shizuoka.jp URL:<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘
- (特定非営利活動法人静岡自然環境研究会理事長・静岡大学客員教授)
- 会員数 565団体・個人(令和3年10月29日現在)

※本書の作成には、マックスパリュウ東海株式会社及びハーゲンダッツジャパン株式会社からの寄付金が使われています。

美しい富士山を、未来の子どもたちに
ふじさんネットワーク
2021.11
Vol. 63

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2021.11

vol.

63

CONTENTS

- 03 [巻頭インタビュー]
富士山の魅力は
美しさを肌で感じ、
広く伝えることから
認定特定非営利活動法人
富士山クラブ
静岡事務所長
深澤 寛貴さん
- 05 令和3年度ふじさんネットワーク総会
富士山エコレンジャー連絡会の活動
- 06 令和3年度 第1回富士山ごみ減量大作戦
根原県有地の草原維持
- 07 カエンタケに関する注意喚起
富士宮口五合目レストハウス等について
- 08 「ふじさんネットワーク」
会員募集中!

表紙の写真



田貫湖 逆さ富士

出典『Photo AC』

富士山憲章 (行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負担を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

巻頭インタビュー



認定特定非営利活動法人
富士山クラブ
静岡事務所長

深澤 寛貴さん

Interview

富士山の魅力は 美しさを肌で感じ、広く伝えることから

富士山クラブの 活動状況

私たち富士山クラブは、「美しい富士山を子どもたちに残していくために」というスローガンのもと、1998年の創立以来、静岡・山梨両県にわたり環富士山地域で環境保全活動を行っています。創立当初に取り組んだ「バイオトイレプロジェクト」は、現在の富士山における環境配慮型トイレ設置の一助になったように思います。

現在は、富士山だけでなく、山麓や海岸を含めた富士山全域での清掃ボランティア、外来植物の駆除、森づくり等を中心に活動を行っています。

コロナ禍での創意工夫

現場レベルの具体的な実践活動を標榜し、行政、企業、教育団体等、様々なみなさんと協働しながら活動を行っています。新型コロナウイルス感染症の蔓延で、活動を実施するにあたってはいろいろと苦労しており、規模の大小

にかかわらずどんなイベントでもまず感染拡大につながらないかを仲間たちと協議し、開催の可否を判断しています。

私たちの活動は継続してこそ意義があり、永続的なものにしていくためにはやはり活動の灯を絶やしてはいけないとの思いがあるため、講演をリモート開催に



J.P.モルガンのみなさんとリモートセッション(2020年11月)

したり、実践が難しい活動に関しては、「富士山の現状を知っていただく」為の啓蒙活動に内容を変えて実施しています。個人の考えとしては、環境保全活動は、いろいろな意味で、「続ける」ことがとても大切だと考えています。

富士山の現状を 知ることが大切

今でも「富士山はごみだらけなんですよ?」と尋ねられることがありますが、5合目以上の登山道ではほぼごみは見受けられません。

一方で、山麓部、特に富士山を周回する幹線道路沿い等は、一見するときれいな緑が続きますが、森の中には、ペットボトルや空き缶、食べ物の容器や包装等をはじめとした「ポイ捨てごみ」が散見される場所も多くあります。一般の方に参加していただく活動においては、ごみ拾いの成果はもちろんですが、現場に足を



富士山の現状を知ることが大切

阪急交通社様との清掃ボランティアツアーの記念撮影
(2019年10月)



運び、体験して、多くの気付きをお持ち帰りいただけるよう心掛けています。またそれが、富士山にとどまらない次の環境アクションに繋がるのではないかと考えています。



集められた富士山のゴミ

清掃ボランティアは設立当初から力を入れている活動です。「隅から隅までごみのない富士山」と言えるその日まで、活動を続けて行きたいと思えます。

富士山麓の美しい自然

富士山の中腹にある「西臼塚」をご存じですか？標高1,200m付近、樹齢数百年というブナや



西臼塚公園入り口

ミズナラの巨木もまある素晴らしい天然林が広がる場所です。富士山というと、やはり「富士登山」を思い描く方が多く、中腹の自然に目を向けられることは少ないように思いますが、「富士山の魅力」を伝えることが、「守る意識」に繋がると思えます。参加者のみなさんには活動のいろいろな場面で、素晴らしい景色を知っていただけるように努めています。西臼塚の国有林では、富士山クラブと静岡森林管理署が協定を結び、森づくり、清掃、外来植物除去等の活動を行っています。



外来種講習会の様子

また、富士宮市北山では、静岡県環境ふれあい課、(株)アサヒ飲料と「しずおか未来の森サポーター」の協定を結び里山づくりを開始するなど、豊かな森林を次の世代に引き継ぐために自然再生や保全の活動に取り組んでいます。

今後に向けて

富士山クラブはボランティアの方々と、地域のみなさん、サポート企業・行政など多くの方にお世話になっていきます。富士山の環境問題の解決には、官民間わず一体となった協働が必要で、何よりの近道だと思えます。NPO本来の役



インタビューに答える深澤寛貴さん

割としても、この一翼を担えるような取り組みを、今後も行っていければと思います。時代は大きな転換期を迎えコロナ禍により更に拍車がかかった状況にあるように思えます。個人的には、過渡期の今、これからの富士山を考える上で、未来を担っていく、子ども達や、10代、20代の若いみなさんに私たちの活動をどう繋いでいくべきか、そんなところに注力して行きたいと考えています。

富士山クラブホームページ
<https://www.fujisan.or.jp/index.html>



深澤 寛貴氏

1976年 富士宮市生まれ。
認定特定非営利活動法人富士山クラブ 静岡事務所長
地元猟友会にも所属し、富士山麓を公私ともに巡る日々を送る。
「様々な立場や考え方があること。生活者の視点でこれからも富士山を考えていきたい」と語る。



令和3年度 ふじさんネットワーク総会

7月22日(木)に沼津市のプラザヴェルデにおいて開催されました。正会員258団体のうち、出席25団体、委任状提出118団体の計143団体の参加により総会は有効に成立し、令和2年度収支決算、令和3年度収支予算案等すべての議案が承認されました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため見送りとなりましたが、新しい寄付記念品のてぬぐい「鏡富士」のデザイン者である、グラフィック&Webデザイン制作DAYSの木村幸男氏への表彰授与と受賞者挨拶も行われました。



受賞者挨拶(左:増澤会長、右:木村氏)



新たに就任した4人の幹事

役員の改選では、現行の会長、副会長、幹事の再任に加え、新たに4団体の代表者が幹事に就任しました。

新たな幹事は「富士自然観察の会 会長の小澤緑氏」、「特定非営利活動法人ホーランド研究所 代表理事の山崎宏氏」、「森のたね 代表の井戸直樹氏」、「富士山エコレンジャー連絡会 代表幹事の吉永耕一氏」の4名で、富士山周辺で精力的に実践活動を行われている方々です。

今後、更にふじさんネットワーク内外の連携を強め、富士山を保全する活動が活発に行われていくことが期待されます。

NEWS × COLUMN × REPORT



富士山エコレンジャー連絡会の活動

令和3年度富士山エコレンジャー連絡会以降、連絡会の総会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のために書面開催となりました。



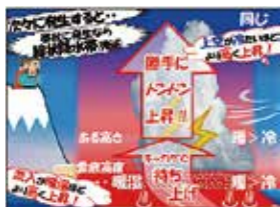
10月の合同環境パトロール

今年度には富士山エコレンジャー・エコサポーターに登録される方々(各2名、計4名)が7月10日の富士山開山時に活動が始められるよう、6月中旬に開催し、令和2年度の活動報告や令和3年度の活動計画 役員の改選等について承認されました。

新型コロナウイルス感染症の県内警戒レベルが4月下旬に上昇したため、5月から9月までの間は複数人での合同環

境パトロールの開催を自粛し(10月再開)、少人数で、富士山自然休養林周辺から山頂まで、登山者への啓発活動や自然環境の調査等の活動を行っていただきました。

連絡会員の研鑽のための富士山エコレンジャー養成研修は、6月に気象庁の講師派遣で紹介していただいた県内在住の気象予報士の千頭(ちかみ)望氏を講師に迎え、リモート形式で開催しました。富士山に関する気象だけでなく、豪雨時の避難勧告等の変更についても話があり、参加者の安全に関する知識が更に深まる講義でした。年度後半も、可能な限り研修を開催予定です。



気象の講座資料(©2021千頭望)

千頭氏からは「ふじさんネットワーク会員の皆様からの派遣依頼をお待ちしています。」とのことでしたので、皆様も受講をご検討されてはいかがでしょうか(メールアドレス:fuji369949@gmail.com)。
富士山の自然環境の保全活動にご興味がある方は、是非ふじさんネットワーク事務局までご連絡ください。



令和3年度第1回 富士山ごみ減量大作戦



富士山ごみ減量大作戦は、ふじきんネットワーク、静岡県、地元市町及び静岡第一テレビ24時間テレビチャリティー委員会との共催で実施しており、第1回を7月24日(土)に富士市桑崎で開催しました。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般ボランティアは募集せず、関係者のみでの実施となりました。

参加者15名で富士山こどもの国付近の道路沿いを清掃し、約160kg(可燃ごみ110kg、不燃ごみ50kg)回収しました。



荷台いっぱいの回収したごみ

今年度は、第2回目を11月に裾野市で、第3回目を富士宮市で開催予定です(10月末時点で時期は未定です)。ふじきんネットワーク事務局も、皆様と一緒に活動ができるようになることを願っていますが、ボランティアを募っての開催は新型コロナウイルス感染症の県内警戒レベル等を考慮して可否を判断することになります。参加者募集が可能な状況になりましたら開催のお知らせをしますので、その際は奮ってご応募ください。



関係者による作業の様子

NEWS × COLUMN × REPORT



根原県有地の草原維持



富士山周辺には豊かな森林が広がっていますが、人為的に手入れされることで維持されてきた草原も存在するなど、多様な環境が自然を構成しています。

富士宮市根原にある根原県有地は、草原を維持するよう保全管理が行われており、静岡県版レッドデータブックの今守りたい大切な自然地域10選にも指定されている貴重な場所です。数百種類の植物が生息していたり、時期によってあらゆる方向から色々な鳥の鳴き声が聞こえてきたりと、様々な動植物の生活の場となっています。



春の根原県有地と富士山

令和3年度の根原県有地の維持管理業務が、特定非営利活動法人富士山自然の森づくりの皆様によって行われており、人の背丈程に伸びた草木が刈られ、樹林化が防がれています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止になりましたが、令和3年度はボランティアの参加者を募集しての草刈体験を11月上旬に行うこととしました。

皆様の参加や理解を得て草原性植生の保全を進めていきたいと考えておりますので、(今年に限らず)参加者募集のお知らせが目に入りましたら、是非参加をご検討ください。



富士山自然の森づくりによる草刈作業状況



カエンタケに関する注意喚起

富士山麓には広葉樹林が広がっており、森の分解者であるきのこも多種多様です。きのこには毒を持つものも多く、むやみに採取して口にしないよう注意が必要ですが、きのこの中でも特に危険性が高い種類で、皮膚に触れるだけでも炎症を引き起こすカエンタケの発生も確認されています。

カエンタケは、ブナやコナラをはじめとしたナラ類の倒木・切り株・枯死木等の近くに発生し、口にした場合は命の危険があります。

外見上の特徴としては、「表面の色がオレンジ色から赤色で、中は白色。細長い円柱状または棒状で、土から手の指が出ているように群生または単生する。」とあります。(厚生労働省HPを参照)



ミズナラの根元に生えたカエンタケ「まなびの森」沢田氏提供

もし見つけてしまった場合は、絶対に皮膚が触れないように注意し、土地所有者や施設管理者がわかれば連絡し、除去・処分を依頼してください。

除去作業は、厚手のビニール手袋等で皮膚を保護して行い、焼却処分します。除去した箇所をバーナー等で焼くと、再発生しにくくなりますが、それでも発生してしまった場合は作業の繰り返しとなります。

ナラ類の木は山奥だけではなく、里山や公園等にもありますので、カエンタケも身近な危険となります。ふじきんネットワーク会員以外の方にも情報提供していただき、被害が発生しないよう注意していただきたいと思います。



注意喚起の表示「まなびの森」沢田氏提供



富士宮口五合目レストハウス等について



令和3年夏にバス駐車場に設置された施設の様子

富士宮口五合目レストハウスは、令和3年3月に火災に見舞われ、その後の調査の結果使用が不可能な状態と判断されました。周辺はバリケードで封鎖されており、取り壊しが進んでいます。富士宮口五合目にどのような施設が建設されるかは、今後の検討が待たれます。

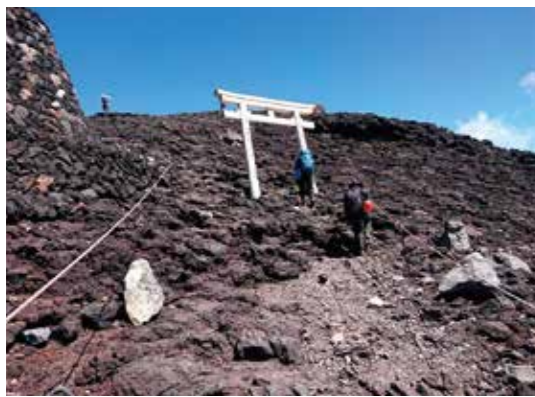
令和3年度の開山期間中は、従来のバス駐車場に仮設のコンテナハウスやトイレ等が設置されて、登山者の休憩場所等として提供されました。来年度以降も新しい施設が建てられるまでは同様の状況で登山者をお迎えすることになるようです。

富士宮口は、静岡県側では最も多くの登山者が利用する登山口ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症や天候不順の影響により、登山者数が大幅に減少しました。

今夏の開山にあたり静岡県と山梨県が「Withコロナ時代の新しい富士登



山マナー」を作成・公表しています。以前と比べて登山するにも色々配慮が必要になりますが、今年度の冬季閉鎖まで、来年以降も富士山を訪れる皆様におかれましては、安全な登山にご協力をお願いします。



山頂に向かう登山者